

# かがやく瞳



## スキー学習へのご協力 ありがとうございます

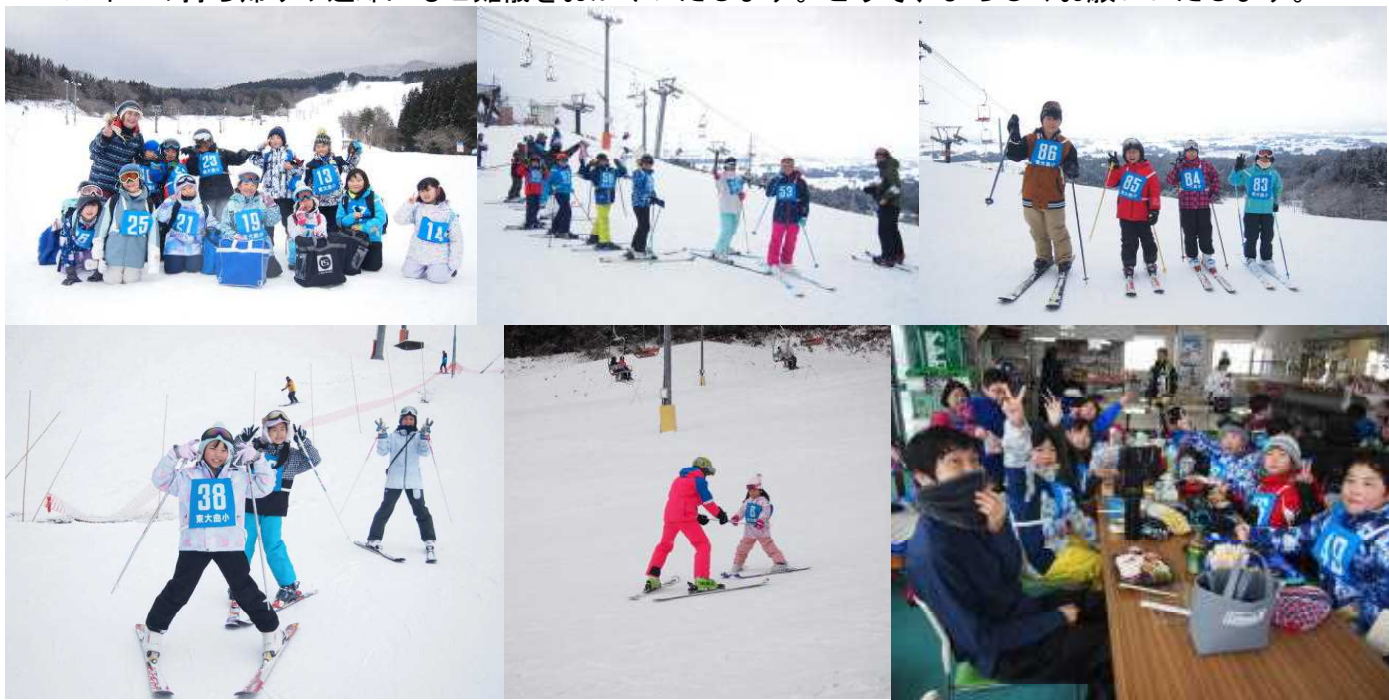
昨日の全校スキー教室は、朝方の雨に「今日はできるのか？」と心配された方も多かったことと思いますが、無事、予定通り全日程を終えることができました。ちょっと風の強い時間帯もありましたが、何の支障もなくスキー教室ができました。子どもたちの日々の行いに感謝です。これで、今年度のスキー学習が終わりました。スキー学習では道具を揃えたり運搬したりなどたくさんのご負担をおかけいたしました。また、多くの方々にボランティアとしてご協力いただきました。これまでたくさんのご協力ありがとうございました。

雪国ならではのスキー学習。(雪国ならではの書きでしたが、実は県内でもスキー学習をしていない学校もあります。以前私が赴任した県央部の学校ではスキー授業がありませんでした。) 子どもたちの様子からは、スキー学習の意義を感じさせられる場面が多くありました。例えば1年生、ウェアを着ることから始まり、スキー靴を履いて坂を登って滑るまでに多くの時間が流れました。何度も「上手くいかない」→「できるようになった」をくり返しました。踏ん張りながらなんとか坂を登り初めて滑った時、坂の下で転んで起き上がった時の笑顔は、とても印象的でした。たくましい瞳の輝きが見られました。たくさんの「できない」が「できた」に変わる場面、そして、笑顔を見ることができました。スキー学習を通して味わった「できた」という実感が、これからいろんな場面で踏ん張る力になっていくことでしょう。新しい春に向かう力を養うことができました。



【1年生 靴を履く練習から】

スキーの持ち帰りや返却にもご難儀をおかけいたします。どうぞ、よろしくお願いいたします。



## お詫びとお礼

昨日はお忙しいところスキー教室にご協力いただき、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。本来であれば昨日の開講式で、申し上げるべきところを、完全に失念してしまいました。申し訳ございませんでした。「教室はまちがうところだ」ということでお詫びしたいと思います。